



東洋ベアリング歌劇生徒挺身隊



小林聖心女子学院女子挺身隊

宝塚の空襲

宝塚で直接爆撃の対象となり空襲を受けたのは、昭和20年（1945年）7月24日の川西航空機(株)宝塚製作所でした。B29と小型艦載機あわせて約150機から爆弾が投下され、20機ないし40機による波状攻撃が同所の目標に加えられました。

その被害は工場のみにとどまらず、その周辺と仁川、段上、神呪方面の西宮地域にも及びましたが、良元村の調査では死者23人、重傷者8人、家屋の全、半壊449戸となっています。負傷者は宝塚第一、良元両国民学校に收容され、そこが救護所にあてられました。

昭和20年（1945年）8月6日には広島に、ついで同9日には長崎に原子爆弾が投下され、戦局は日本の完全な敗北を決定づけるものとなり、同15日の終戦を迎えることになりました。

〔出典：宝塚市史第3巻より抜粋〕

川西航空機宝塚製作所被爆状況



星条旗がひるがえる東洋ベアリング武庫川工場

